

氏名	千 田 好 子
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3374 号
学位授与の日付	平成 11 年 9 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	MRSA院内感染の細菌学的・分子疫学的調査と感染予防対策
論文審査委員	教授 山田 雅夫 教授 公文 裕巳 教授 吉良 尚平

学位論文内容の要旨

医療従事者が従来実施してきた感染対策を見直し、院内感染率を減少させることを目的とし、市中病院のICUにおけるMRSAの生息状況および伝播様式を、Pulse field gel electrophoresis (PFGE) 法による遺伝子解析などを行い調査した。患者より分離されたMRSAのDNAパターンと、その患者のケアにあっていた看護婦の手指や衣服などから分離されたMRSAのDNAパターンとが一致したことから、手洗いやガウンテクニックを含むスタンダードプリコーションの不徹底が明確になった。この調査結果を医療現場にフィードバックし、効果的感染対策を検討・実施した。その後ICUを含む救急病棟および外科病棟において初回と同様の調査を約1年間に2回行ったところ、MRSA患者以外からMRSA株は分離されなかった。PFGEなどによる疫学的調査結果をふまえての指導が、院内感染予防に寄与したものと考えられた。

論文審査結果の要旨

本研究では、ICUにおけるMRSA院内感染対策にパルスフィールドゲル電気泳動法による遺伝子解析を導入して細菌学的・分子疫学的調査を行った。調査の結果、ICUに収容されていたMRSA感染患者から分離されたMRSAのDNAパターンと、その患者のケアにあたった看護婦の手指や衣服などから分離されたMRSAのDNAパターンとが一致した。この結果を医療現場にフィードバックし、手洗いやガウンテクニック等スタンダードプレコーションの徹底など院内感染対策を検討実施した。その後ICUを含む救急病棟および外科病棟において同様の調査を約1年間に2回行ったところ、状況は急速に改善されていた。以上のように本研究は、MRSA院内感染対策において、パルスフィールドゲル電気泳動法等による疫学的調査結果をふまえての指導が院内感染予防に寄与することを示した価値ある業績である。

よって本研究は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。